

福島県県南地方の再生に向けて

～福島県へのメッセージ～



福島県県南建設事務所

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、それに伴う福島第1原子力発電所の事故、そして同年9月の台風15号と、大規模で複合的な災害が発生し、福島県県南建設事務所管内においては、東日本大震災による被災は107件約16億円、台風15号による被災は59件約4億円にものぼるなど、多面的な対応を求められる事態となりました。

これらの災害対応のため、全国から職員派遣や物資提供のご支援をいただき、平成25年7月には管内の全ての災害復旧工事が完了いたしました。

県民の皆様のご協力、そして全国から応援いただいた職員の皆様のおかげです。

本当にありがとうございました。

現在も、自治体からの支援は続いています。

派遣されている職員の皆様はもとより、派遣元の自治体の皆様にも深く御礼申し上げます。

このたび、全国から派遣により当事務所をご支援いただいた職員の皆様にコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

今後、ご支援いただいた皆様の言葉を励みに、県南建設事務所としましては、さらに復興を加速化させるため、「県南から元気を！」をキャッチフレーズに、「新生ふくしま」の実現へ向けて全職員が一丸となって本県の復興に向けて全力で頑張っております。

《県南建設事務所 復旧・復興関係の主なトピックス》

OH24.12.13

[葉ノ木平の地すべり対策工事が竣工しました。\(葉ノ木平\)](#)

OH25.07.17

[最終号\(2013年7月17日\)7月12日14時 交通規制解除しました。\(白河羽鳥線\)](#)

OH25.08.01

[県南建設事務所における公共土木災害\(平成23年災\)の復旧状況について\(平成25年7月末現在【復旧率100% 最終報】\)](#)

県南地方の災害復旧には、他県の職員の皆様から、多大なご支援をいただきました。ここで、応援にきてくださった方々からのメッセージを紹介させていただきます。

※原稿はそのまま掲載

島根県 上村 直樹 様
H23. 4. 11～H23. 5. 2 矢吹町で復旧支援

3月11日、島根でも若干の揺れを感じました。すぐにテレビをつけましたが、東北の状況は、想像をはるかに超えるものでした。おそらく東北の皆様より遥か離れた島根の方が震災の全体像が把握できていたと思います。

翌月の11日、ちょうど震災から1ヵ月後、県南県土に派遣となったわけです。

私は矢吹町の応援ってことで、県南県土の職員の方2名と一緒に矢吹町役場で土木災害復旧の仕事をすることになりました。何百もある被災箇所ほとんどが舗装面のクラックで、現場の計測・写真等を撮っても、度重なる余震により次の日には形状が変わっている状況には、びっくりしました。

県南県土・矢吹町職員の方々においては、震災を受け様々な家庭状況の中、業務をこなされ大変だったと思います。こうした状況下にもかかわらず、応援組に対して、温かく優しい支援をいただき感謝しております。我々が福島県さんにとって一助となれていれば幸いです。

一つだけ言えることは、現場にて盲腸になった方を緊急搬送したことは、確実に貢献できたかなと思っています。

最後になりましたが、今回の応援で初めて福島県に行き貴重な経験をさせていただきました。また、仕事から離れたところでは、豊富な自然環境もあり、おいしい食材もあり、特に「白河ラーメン・会津の水」は美味しかったです。

島根県 中本 文志 様
H23. 5. 3～H23. 6. 2 県南建設事務所で復旧支援

私が東日本大震災に係る災害応援に行ったのは、島根県の災害応援第2班として平成23年5/3～6/2の31日間でした。このときは、県南建設事務所と矢吹町役場にそれぞれ3名ずつ派遣されましたが、私は県南建設事務所で災害査定業務にあたりました。

私たちが派遣された時期は、津波による被害の無かった中通り地方は迅速な応急対応がなされ、すでに災害直後の慌ただしさが沈静化された様子でしたが、査定現場に向いて災害箇所を見ますと“自然の脅威”はすさまじいものだと痛感させられました。我々技術職員はインフラ整備を図ることが使命であり、ソフト対策を含めて自然と対峙していかなくてはなりません。自然災害はいつ襲ってくるか分かりませんが、今後も県民のために共に頑張っていきたいと思います。

最後に、順調に災害復旧がなされているとお聞きし大変喜ばしく思っておりますが、今後とも「がんばろう東北」の合い言葉のもと、被災地の1日も早い復旧・復興が出来ますことを祈念しております。



島根県 佐川 竜朗 様

H23. 4. 11～H23. 5. 2 県南建設事務所で復旧支援

「心もとなき日数重なるままに、白河の関にかかりて旅心定めぬ。」

メッセージの依頼を受けて3年前を振り返ってみる。あれからもう3年。まだ3年。震災から3回目の春を迎える。東北の方々、とりわけ福島県の方々にとっては非常に大変な年月。

震災から1ヶ月後にわずか約1ヶ月という短い期間だけ応援で滞在したに過ぎない私ですが、新幹線が不通で閑散としていた新白河駅付近にあった松尾芭蕉の句が強く記憶に残っています。

桜の花見客で賑わう東京から荷物を積んでレンタカーで初めての東北道を走った日。黙禱を捧げた後に震度5強の余震があった着任当日。(2011年4月11日)常に優しく気遣っていただいた県南建設事務所の方々と仕事の後、酒を酌み交わし語り合った日。雷雨の中の東北道を運転して福島県庁まで行き復旧方法について協議した日。盛土部が大きく崩れた県道十日市矢吹線で「大きな余震が起きたら・・・」緊張感の中、コンサルタントのSさん達と測量した日。なごり雪の中、崩壊原因の湧水箇所を探すために踏査した日。路面災が多く、写真撮影方法もいろいろと工夫した日。査定杭を設置完了した後、昼食に班員と一緒に白河ラーメンを食べた日。決まり文句「頑張ってください」を使いたくなくて頭が真っ白のまま最後の言葉に詰まった離任式の日。

少しずつ滞在中の日々が蘇ってきました。

結局のところ、本当にささやかな査定前のお手伝いをしただけで査定は次の班に託したため複雑な気持ちを抱えたまま復旧した新幹線で帰県したのですが・・・。

しかしながら、災害復旧工事が無事に終わったと聞くとやはり感慨深いものがありました。

改めてこれまでのご尽力に対して敬意を表します。

昨年8月、島根県西部は豪雨災害に見舞われました。(県政史上ワースト6)

幸い人的被害は最小限でしたが、施設の被害は大きく年末まで査定の日々が続きました。

私は主に市の査定支援をしましたが、福島県への災害派遣での経験が少なからず役立ちました。

やはり災害はいつどこで起きるかわからないものだと実感しています。

今もなお原発事故の影響は続いているようですが、報道などで少しずつでも平時の状況に近づいていることを知ると「ご縁の国・島根」の地からも嬉しく感じますし、今後も健康には一段と留意されて福島県全体の着実な復興・復旧が進むよう願っています。

また、何時になるかわかりませんが、福島県にひとりの観光客としてふらりと訪問したいのでその節はどうぞよろしく願います。そして是非、「神々の国・島根」にもお越しください！



みちのく民芸の白河だるまと派遣当時の名札



島根の郷土芸能・石見神楽「大蛇（おろち）」(筆者撮影)

島根県 藤井 浩 様
田中 健司 様
高橋 英和 様

H23. 5. 3～H23. 6. 2 矢吹町で復旧支援

原発事故の早期復旧を心から祈っています。

平成 23 年 5 月 1 日から 1 ヶ月間、我々三人は福島県西白河郡矢吹町の災害復旧を応援しました。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の災害復旧は県南建設事務所では全て完了したとのこと、心からお祝い申し上げます。振り返れば当時からすでに 3 年が経過したのですね、ついこの間の事のようにです。

慣れない知らぬ地での仕事で、うまく出来るかと心配しておりましたが、矢吹町職員、福島県職員の方々に助けられ災害査定に向け集中できました。着任当初より一体感が感じられスムーズに仕事が進んだのも、温かい職員の方々のおかげだなと思い返しております。

1 日だけの休日の際には福島県の観光名所を巡り、温泉に入り、マッサージで体を癒し、雄大な福島県を堪能させて頂きました。

土産にした矢吹町の地酒や美味しいラーメン、福島県にも宝物がたくさんあったな～と今でも思い出されます。

そして 3 年たった現在、なんの因果でしょうか、我々 3 人とも島根県津和野土木事業所で平成 25 年 7 月に発生した豪雨災害復旧事業に関わっております。

お世話になった福島県と矢吹町の事は忘れません。

遠く離れたここ山陰の地、東西に細長い島根県より、原子力事故が早期に収束すること、そして何より、皆様のご健康ご多幸を、心より祈念しております。



福島県職員との協同作業の状況（当時）



島根県 下垣 智之 様
H23. 6. 3~H23. 6. 30 県南建設事務所で復旧支援

災害復旧の応援として、1ヶ月間という短い期間でしたが、福島県県南建設事務所の皆さまに大変お世話になりました。

土木技術者として未曾有の災害からの復旧の力になりたく、希望して福島県に派遣されましたが、災害応援としてはあまり役に立つことができなかつた印象が強く残っています。というのも、あぶくま高原道路での災害査定中、立会官に『あなたも遠く島根県から来て、こんなに怒られるとは思わなかつたでしょ。大変だね。』と言われた言葉、その時の顔が今でも脳裏に焼きついているからです。

この言葉に象徴されるような感じで過ごした1ヶ月でしたが、佐藤 CAP をはじめとして、事務所の皆さまにフォローして頂き、何とか仕事をすることができました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、魅力溢れる福島県が一日でも早く元の姿に戻れるよう、遠く島根の地から応援しています。

埼玉県 萩原 尚斗 様
H23. 7. 1~H23. 9. 30 県南建設事務所で復旧支援

私たちのチームは平成23年7月からの3ヶ月間、県南建設事務所の管理課でお世話になりました。力になれるかどうかという不安を抱えながらも、震災により大きな被害を受けた東北の力になりたい、そんな思いが派遣という形で叶い、埼玉県の代表として福島県へ向かいました。

終わりのない余震、放射線の見えない恐怖、様々な不安の中で福島県での仕事をスタートすることになりました。土地勘の無い中で慣れない業務に四苦八苦する私たちに、事務所の皆様方には優しく指導していただきました。その気持ちに応えるべく、早く業務を覚え、一生懸命成果を出そうと励んだことを鮮明に記憶しています。普段から気さくに話ができて、事務所の雰囲気はとても良かったなあと思います。

平成23年3月11日の大地震は、東北の随所に大きな爪痕残していきました。私事ではありますが、私は学生時代を東北の最奥地、青森県で過ごしておりました。それだけに東北には強い思い入れがあり、震災の様子が連日メディア等を通して流れてくる度、何か力になれることは無いのかと悶々としていました。

有事の際、全ての復興に先立ち必要なことは、私たち土木の人間にしか成し得ない復旧活動だと思います。東北地方の玄関口である県南建設事務所管内において、その一端を担えたことは、派遣から月日が経った今でも光栄に思っております。

大変お世話になりました。私たちがお力になれることが少しでもあれば、またいつでもお声がけいただければ幸いです。



埼玉県 齋藤 良太 様

H23. 10. 1~H23. 12. 31 県南建設事務所で復旧支援

派遣中は大変お世話になりました。被災から間もない時期でありながら、しっかりと仕事をしている職員の方々を見て、私も初心に帰った気持でした。

これからも、県南建設事務所から福島県に元気を発信して下さい。



埼玉県 坂本 憲正 様

H23. 10. 1~H23. 12. 31 県南建設事務所で復旧支援

私が着任する直前には台風による被災もあり、赴任当初は配属先の方々の大変多忙な姿に驚くと同時に、自県は比較的災害の少ない県ですが、それは大変幸せなことなのだと改めて実感しました。

私は福島県に住んでいたこともあり、微力ながら力になればという思いを持って派遣に臨んだのですが、関係者の方々には御迷惑をお掛けした点多々あったかと思えます。応援というより逆に色々な面で勉強させていただきました。

また、福島県には自然や歴史、温泉、お酒等々、全国に誇れる魅力があることを再認識させていただきました。

大好きな福島県の今後の御発展を心から祈念しております。
がんばれふくしま！



埼玉県 小野寺 貴郎 様

H24. 1. 1~H24. 3. 31 県南建設事務所で復旧支援

私の派遣期間は平成24年1月4日（水）から3月26日（月）までの約3か月でした。この年は白河市では平年に比べて雪は少ないと言われましたが、それでも1月下旬には、それなりに雪も降り、検査を受ける現場はどのような状況であろうかと心配になったことが回想されます。

私は宮城県生まれだったこともあり、もともと東北に土地勘があったので白河に来たこと自体は懐かしい感じであったことを覚えています。来た頃は、日常生活を取り戻しかけた頃であったので、生活自体には不自由はなく、業務においても福島県職員の皆様に大きく支えられ遂行することができました。埼玉県のグスグスした雰囲気と違い、福島県の皆様の温かさにふれ、本当にいい経験をさせていただいたと思っています。

今回、県南建設事務所管内の災害復旧工事も一区切りを迎えると伺っております。皆様とともに私がお手伝いに貢献できたかは分かりませんが、自分の故郷に一筋の光明を見た思いです。これからは、「ふくしまから はじめよう」の合言葉のもと、地域資源を最大限に活用したまちづくりが進み、歴史と文化を感じる白河市が見られることを期待しております。

私も埼玉県に帰任後、何回か白河に足を運ばせていただいております。特に千駒酒造で日本酒造りを体験させていただいたり、「梅むら」での飲食を楽しんでいますので、機会がありましたら皆様と再会したいですね。

これからも福島県復興を応援させていただきますので、皆様も体に気を付けて頑張ってください！



埼玉県 大篠 一也 様
H24. 4. 1～H25. 3. 31 県南建設事務所で復旧支援

1年間という短い期間でしたが、仕事として福島県の復旧に携わる事が出来ました。今までも埼玉県職員として一生懸命仕事に取り組んできましたが、福島県職員の方々の仕事に向き合う姿に今一度初心に戻り、仕事に取り組みたいと考えています。

福島県の復興を埼玉県より応援していきます。身体の健康はもちろんですが、心の健康にも十分ご留意いただき、ご活躍される事を願っております。また笑顔で会いましょう。

埼玉県 藤野 直紀 様
H24. 4. 1～H25. 3. 31 県南建設事務所で復旧支援

一年間、大変お世話になりました。仕事からプライベートまで様々なことを経験させて頂き、とても中身の濃い1年でした。福島県の方には本当に温かく対応して頂きありがとうございました。はじめて福島県に来ましたが、果物など食べ物もおいしく観光資源も多く本当に良いところだと思いました。埼玉県人としてはうらやましい限りです。まだまだ行きたい所もあるので、また遊びに来たいと思います。

福島県の再生のためには、浜通りの復旧・復興など課題がまだまだあるとは思いますが、福島県の方々の堅実で温かい人柄であれば必ず再生されると信じています。埼玉県から応援しております。



埼玉県 高橋 政幸 様
H25. 4. 1～ 県南建設事務所で復旧支援

派遣先として福島県を希望したところ、県南建設事務所に縁あって着任しました。ほんの少しでも役に立つことが出来たでしょうか？職員の皆さん、温かく迎えていただき、また良くしていただき、ありがとうございました。あっという間の一年でした。

“復旧から復興のステージへ”これからも県南地域を力強く牽引し続けてください。



埼玉県 河内 克己 様
H25. 4. 1～ 県南建設事務所で復旧支援

平成23年3月11日、私は埼玉県庁内で地震と津波による被害の凄さをただ見ているだけでした。本県でもすぐに復興への支援希望者を募ることとなり、「自分の力が少しでも役に立つのであれば。」と思い希望させていただきました。

いざ、希望していた派遣業務が4月から決まると、「自分が派遣されて本当に役に立つのだろうか。」と不安の思いが揺れ動く中で始まったこちらでの生活でした。何もわからない自分を親切に教えていただく中、地域の方へ献身的に業務を行っている職員の皆さんを見ると、深く感謝するとともに大変勇気づけられています。

現在は、災害復旧事業も概ねの終息を迎え、見た目には普段の生活に戻りつつある管内ですが、担当している舗装や橋梁の補修事業等の更なる推進が求められています。また、県内では、いまだ御苦勞をされている地域やそこで生活している方々が多くいらっしゃいます。

大震災や原発事故からの復興には、今後も長い時間を費やすことと思います。その間のご苦勞は想像に難くありません。皆さんと一緒に、この間の一助となるよう頑張っていきたいと思っています。



香川県 竹森 晋太郎 様
H24. 4. 1~H24. 6. 30 県南建設事務所で復旧支援

福島県県南建設事務所の皆様、お久しぶりです。香川県庁営繕課の竹森です。

私が県南建設事務所で支援させていただいてから、はや一年以上が経過しました。

私が向かった頃は、震災から1年が経過していたものの復興事業が思うように進んでおらず、予定通りの支援が出来ずじれったいような申し訳ないようなそんな気持ちに苛まれたりしていました。

その後支援に向かった方々にそちらの様子を伺っていると、少しずつではあるものの復興事業も一歩一歩着実に完遂し軌道に乗りつつあるように聞いており、なんだかホッとしている思いもあります。

日本で最狭の香川県から福島県へ行きますと、やはりスケールの大きさに感動します。

広大な山、川などの自然に、会津地方・中通り・浜通りの気候の違いに驚き、桜は県北から南へ下りながら咲いていくなど、香川県では体験出来ないような事をたくさん与えていただきました。永住しても良いなあと思えるくらい福島県は素敵なところです。

日々の多忙な業務に囚われて心が疲弊してしまいましたが、福島県の方々はとても忍耐強く、どんな困難も解決していける力を持っていると感じました。

こんな素敵な福島県を是非もう一度復興させるべく、自身の心身の健康に十分気を遣いつつ、これからも頑張ってください！



香川県 香川 政治 様
H24. 7. 1～H24. 9. 30 県南建設事務所で復旧支援

県南建設事務所の皆様、お元気ですか。平成 24 年 7 月から 3 か月間、建築住宅課でお世話になりましたうどん県、いや香川県建築指導課の香川です。派遣の際、近藤部長様をはじめ建築住宅課の皆様には大変お世話になりました。不慣れな私を温かく迎えていただいた事を感謝しております。業務では、白河警察署の災害復旧工事や光南高校柔剣道場・和室屋根改修工事の設計図書の作成などに携わらせていただきました。また白河実業高校の災害査定にも立ち会い、査定の厳しさも経験しました。設計書の作成では、慣れないエスティマに四苦八苦した日々が昨日のことに思い出されます。あの時は、堀川さん、平井さんありがとうございました。

私生活では、妻と子供が夏休みの宿題持参で会いに来てくれて、3 週間も一緒に過ごすことができ、週末にはアクアマリンふくしま、大内宿、鶴ヶ城や須賀川の釈迦堂川花火大会に連れて行くことができ家族も喜んでおりました。福島県には、素敵な所が沢山あるんだなぁと感じました。また、いわき市で家族と一緒に見た津波被害の光景は、言葉も出ないものでした。当時 7 歳の誕生日を迎えたばかりの息子にも、この光景を実際自分の目で見た記憶は、一生忘れることなく心に刻まれることと思います。

本当にあっという間の 3 か月でしたが、生涯忘れることが出来ない貴重な経験をさせていただきました。現在、香川県では宅地耐震化推進事業や民間住宅、緊急輸送道路沿道建築物の耐震補助事業を実施しており、宅地及び建築物の耐震化をより一層、促進したいと思っております。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸、そしてなりより福島県の 1 日も早い復興・復旧を遠い「うどん県。いやそれだけじゃない香川県」から心よりお祈り申し上げます。



島根県 角森 浩一郎 様
H24. 10. 1～H25. 3. 31 県南建設事務所で復旧支援

県南建設事務所の皆さんご無沙汰しております。

平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの半年間、大変お世話になり、本当にありがとうございました。

右も左もわからない得体の知れぬ『よそ者』の私に本当に優しく暖かく接していただき、福島の方々の『人の好き』が身に沁み込み、白河を離れるときは大変寂しい思いで、後ろ髪を引かれながら、東北自動車道を涙ながらに南下しました。

早いもので福島県から帰任して半年が経過しようとしています。

帰任早々、土木部建築住宅課建築指導スタッフへ異動となり、営繕畑の私が建築基準法、建築士法及び耐震改修促進法を始めとする建築関係法令の担当をさせられ、日々、解らないことだらけで右往左往しております。（やっぱり現場が良いなあ）

思い起こせば、ただただ『忙しい』日々が続いたなあ、半年間という短い期間で災害復興の一助になれたのかなあ、雪は（島根に比べて）大して降らないけど耳が干切れそうなくらいに風が冷たかったなあ、日本酒は甘口だったけど美味しかったなあ、とら食堂を始めとする白河ラーメンは美味しかったなあ、でも美味しいと言われるお店全部は食べ歩けなかったなあ、大人しいけど楽しい人が沢山居たなあ（一人派手だったけど）等々、色々なことが頭をめぐります。

最後になりましたが、福島県の皆さんのご健康とご多幸並びに福島県の日も早い復興をお祈りします。

今年は、縁結びの神『出雲大社』の 60 年に一度の遷宮の年です。

福島からは 1,000km と少し(?) 遠い島根県ですが、新幹線や飛行機を使えば、『あっ』と言う間です。

是非ともお越しください。皆さん、お元気で、

また会いましょう(^ ^)/~~~~

みんなを島根で
待ってるにゃ！



香川県 安里 哲夫 様
H25. 4. 6～H25. 6. 30 県南建設事務所で復旧支援

私は H25 年 4 月～6 月の 3 ヶ月間、県南建設事務所の建築住宅課に配属されました。

職場の皆さんや仕事で接する福島県の方々は優しい方ばかりだったので、不慣れな土地でも業務に励むことができたことに感謝いたします。

担当させていただいた高等学校災害復旧工事の監理業務をとおして、皆さんと一緒に福島県の復興事業に携われたことは、私の誇りです。一日も早い福島県の復興を、大河ドラマ八重の桜を見ながら祈っています。



香川県 大平 達也 様
H25. 7. 1～H25. 9. 30 県南建設事務所で復旧支援

県南建設事務所の皆様、お久しぶりです。平成 25 年 7 月から 9 月までの 3 ヶ月間、建築住宅課にて、業務をご一緒させていただきました香川県の大平です。つい先日まで、福島県で過ごしていたはずなのに、白河の街や、白河ラーメンが、ものすごく懐かしく感じる今日この頃でございます。(笑)

派遣期間中は建築住宅課の皆様だけでなく、他課の皆様にも温かく迎えていただき、おかげで、毎日楽しく業務に取り組むことができました。震災とその後の原発事故という大きなダメージを背負ったにも関わらず、前向きに力強く歩もうとする皆様の姿に、逆に私も勇気付けられた気がします。

日常業務以外でも、皆様にはいろいろとお世話になりました。

震災後初となる白河関まつり「白河関の踊り流し」にもご一緒させていただきました。踊りの後、花火を眺めながらのビールは最高においしかったです。もちろんお酒も！言うことなしです。

阿武隈川源流滝めぐりでは、あの雄大な阿武隈川を僕の足でも、いとも簡単に、またぐことができました。(笑) 帰りの大雨も今となっては、いい思い出です。

初めて訪れ、初めて過ごした福島県でしたが、本当にいいところでした。人も街も自然も最高にいいところでした。おだやかで、暖かい福島の人が好きでした。昔ながらの面影を持つ白河の街が好きでした。雄大な福島が自然が好きでした。

中でも、猪苗代湖、磐梯山の景色は大好きでした。福島に持ち込んだバイクで同じ場所に 3 回も行くほどでした。ぼーっと湖や山を眺めながら過ごした時間が忘れられません。心残りには、安達太良山に登れなかったことでしょうか。(笑) 10 月ともなると、きっと美しい紅葉が見れるんだろうなあ～と勝手に頭の中で想像しております。そして、いつかまた訪れてみたいと思います。

災害復旧工事も順調に進んでいるとのことですが、まだまだ、大変な業務が続いていると思います。どうか、お体にお気をつけ、ご活躍ください。福島県の復興とさらなる飛躍を、遠く香川県からではありますが、お祈り申し上げます！

